

(前号までの「夜回り通信」を「炊きだし通信」にタイトル変更します。)

## 炊きだし 6月13日(土) 曇り 12:00～五橋公園

ホームレス参加数67名。ここ何ヶ月も50人を割っていたので、予想数より増。用意した分量がギリギリで焦る。また初めてお目にかかる人が目に付いた。昨年来の社会状況の影響がじわじわと出てきているようすだった。(反省会での感想から)

相談コーナーのHさんの所へは相談者4人。最近多いのはやはり派遣切りにあって路上に出た方の相談。Hさんの萌友アパートに入りたいという申し出だった。ただこの日は「年金生活ホームレス」-3~4万円の年金を貰っていて路上での生活費には十分だが、アパート暮らしをするには足りないというホームレス。それが受給日が近づくという相談の方が3人いたそうである。誰かに取られそうなので、どうしたらよいか?というもの。路上にも様々な不安がつかまとう。生徒が車で恐い目にあつたホームレスは、働かずに親の年金を食ひ物にしているという40代の男で、お腹の大きい「妻」を連れ歩いていた。

ボランティア参加者30名。本校からは生徒7名、卒業生1名、卒業生の親1名、教員1名、合計10名参加した。事前に指導はしていたものの気が利かないのは当然のこと。それでも正平協の方たち(主に北仙台と元寺のカトリック教会信者の皆さん)は生徒の参加意図を理解してくださりいつも親切熱心に対応して下さる。反省会で高校生への活動への感謝の言葉が話されるたびに冷や汗をかく。しかし確かに生徒たちはけっこう生き生きと現地の炊きだしでも働いていた。

### 生徒感想から～

- 前回よりも楽しくボランティア活動ができてよかったです。反省点はもっと気の利いた行動をしなけれならなかったことです。(2年 A)
- 3年生なってからは初めてのボランティアで久しぶりに炊きだしに参加しました。行くたびに来ているホームレスの人数が変わって多かったり少なかったり、世の中の状況が一番わかる場所だと思えます。3年生で進路とか大変だけど、炊きだしはできるだけ続けてゆこうと思えます。(3年 Yk)
- 私はボランティアに行くまで、ホームレスの方たちのイメージがもっと暗くて恐い人なのかと思っていました。でも行ってみると、みんな元気でフレンドリーで、とても驚きました。ですが、人数が多くて、世の中の厳しさを知りました。とても勉強になったボランティアでした。(2年 Mi)
- 私は最初積極的に参加することができませんでしたが、だんだんと慣れていきました。ホームレスの方はとても明るくて、前よりイメージが変わったと思えました。次回参加するときは、今回の経験と反省を活かして、自分自身でやれるボランティア活動にしてゆきたいです。(2年 Ht)
- 今回の炊きだしでは初めて女性の方を見かけました。前回より10人以上増えたということで、まだ増え続けているのかなあと思いました。早く減ってほしいと思えます。(2年 Se)
- 友だちに誘われて初めて炊き出しボランティアをやってみました。ホームレスの方の大変さを目の当たりにしました。また機会があったら参加したいと思えます。(3年 Yi)

## 夜回り 6月10日(水) 小雨 20:00～

- ①東西線工事に入って、国際センター裏の川沿い洞窟のおじいさんもいない。萌友のアパートに入った。それはそれでよかった。ベンチの人は寝たまま。
- ②西公園旧図書館奥の小屋の住人、はげ上がったおじいさんは五橋公園炊きだしの常連だった。
- ③その隣の住人、20代の若者は訪ねたときは不在だった。帰りかけるところへ追いかけるようにやってきた。カップ麺・おむすび・ゆで卵・缶詰を置いてきた。
- ④陸橋下ハウスのOさん。「あの20代の若者は怪しいと見て、交番の署長以下数人毎日見張りに来ているよ。……確かに怪しい。……でも、おれも人のこと言えないなあ。」そう言って一人で高笑いしていた。……

☆今月も小学校からたくさんの献品をいただきました。お礼申し上げます。1つとして無駄にせず役に立っております。次回は7月11日の炊き出しになります。よろしくお願ひします。